

国債暴落&巨大地震の Wリスクで『貸貸派』が急増中

全ての「社長のひとりごと」が
WEBで読める!
「くぼかわよしみち.com」
毎月20日更新!!

くぼかわよしみち.com 検索



アサヒグローバル株式会社 代表取締役
ゴールドトラスト株式会社 代表取締役
ゴールドエイジ株式会社 代表取締役
文/久保川 議道
text:Yoshimichi Kubokawa

ホームページ

asahiglobal.co.jp
global-mie.co.jp
super-chintai.com
goldtrust.co.jp
goldage.co.jp
kubokawayoshimichi.com

社長の
ひとりごと
【入居者新聞】
Vol.04
2012 8月

まずお恥ずかしい話しを1つ申し上げます。私はこの20年間「新聞」と言うものを見たことも、読んだこともありません。しかし、まあ何も困った事はありませんでした。それは時々、皆さんが知っている最新ニュースを私は知らなかつたりしますが、2日か3日遅れで誰れかが教えてくれるものです。

誰れが死んだとか、殺されたとかの話にも興味は全くありませんし、誰れが首相になったとか、誰れがアメリカのオバマ大統領に会うとか、普天間基地がどうなるのかも、私は完全に日本の政治を信用していませんし、政治家をりっぱな人だとは思っていませんから、あまたか。と思うだけで、完全に無視しています。テレビも見ませんから、人の噂話し、陰口、ゴシップの話し、芸能人にも興味がありません。

しかしテレビ番組の自分の見たいものは、DVDに録画してもらって、車の中の通勤の時に、見てはいけませんから、音声だけを聞いています。『カンブリア宮殿』とか『特集番組』を指定して、見えます。しかし今も見なければならぬDVDが3

0枚(30時間分)以上残ってますから、あー大変、てな感じです。私は今年の1月5日から今日まで、もう7ヶ月以上の間、1日も会社の休みがありません。7ヶ月間無休で働いています。しかし私は自分の仕事が好きですから、全く喜んで働いています。しかしそれは一般的には「大切なこと」のいくつかを犠牲にする必要がありますから、まず新聞を読む時間、テレビを見る時間、家族との休日無くして仕事の時間を確保しています。

どうしても無くしたくないのが一日2食の食事と二回のアルコール。そして読書と書き物とポーと考えている二人の大切な時間です。それが私の個人の日常生活です。

さてその中で必ず毎週欠かさず読んでるのが『週刊ポスト』です。どう言う訳か私はこの週刊誌が好きです。新聞は信用しませんが、この週刊ポストの言うことはみんな信用してしまいうぐらい、信頼できる情報源として活用しています。まあ毎日の新聞系をカットして、二週間分のまとめレポートを週刊ポストで見ているのが『私流』です。

あと私は『読書魔』ではありません

んが『本購入魔』ですから、二日冊、1ヶ月に30冊以上の興味のある本を買います。ペラペラめくって、せいぜい読めるのは数冊ですが、何かの脅迫観念があるのでしよう。買わないと気がすみません。あとは7冊程の専門雑誌を定期購読しています。が見る時間がなくて今1m以上積み上がった状態です。机の上も本の山が5つ程、倒れそうになるギリギリの状態です。積み上げていますから、まあ新聞なんて読んでる暇はありません。

さて前置きばかり長くなってしまいました。本題です。今回のこのタイトルは『週刊ポスト』の特集のタイトルそのままなのですが、全く私のテーマですね。こう言う特集をやってくれるので私は週刊ポストを信頼しているんですね。

まずは記事そのままを切り取りますと、『しかし住宅ローンの返済方法をあれこれ考える前に、そもそも家を買うべきかどうかという問題がある。専門家の間では「今の時代、持家こそ最大のリスクだ」という意見は根強い。シリーズ第3弾では、「夢のマイホーム」と「生借家暮らし」の損得対決である。』いやー

面白いですね。『持家こそ最大のリスクだ』にはシビれますね。私の意見は、『持家』が悪いと言っているのではなく、持ち家のメリット・デメリット。『賃貸』のメリット・デメリットを皆さんがしっかりと分かっていって、そしてどちらかに納得して決めていただきたいのです。そして幸せな生活実現のために、幸せな決断の参考にしてください。この『入居者新聞ドットコム』を発信させていただきます。

持ち家についての厳しい私の意見は、『アサヒグローバル』の『社長のひとりごと』に連載されています。『住宅の原価は15万円です』『高い買い物は止めましょう』とか『消費税10%で新築住宅の需要はなくなる』とか、なかなか過激な内容で『持ち家派』の皆さんにもご好評をいただいております。さて紙面の関係で『週刊ポスト』をすべて記入することはできませんから、私なりに重要なポイントをとらえてみました。①『サラリーマンは自宅を買うな』著者の石川先生のお話し。地震で家が流された。原発事故、首都圏の液

状化など『家を持つリスク』が広がり、『賃貸住宅が世間体が悪い』『自宅を持つステータス』、今やそんな価値観も崩れつつあります。

②家賃とローン支払いを比較して『あまり変わらなければ、持ち家を買った方がいい』は間違いだ。火災保険、固定資産税、修繕、リフォームが別途必要である。

③『今が買い時』のセールストークも買った時がピークで下がり続けている。そして最新の設備も『すぐに陳腐化』する。

④これは私も面白い、いい計算だと思ったのは『実質家賃』でした。3,000万円の住宅を購入した時の計算は、自己資金350万円を頭金と諸経費に充て、残り2,800万円のローン(固定金利2.5%30年)を組む場合。固定資産税や修繕費など毎年40万円。不動産価格が年3%下がる場合。5年目で売却した時の『累積コスト』は1,080万円。ローン残債は2,465万円。売却価格は2,588万円。差し引き966万円。5年の60ヶ月で割ると、実質家賃は月『16万円』になってしまいます。周辺での賃貸相場が10万円前後だと、賃貸

の方が得と言うことになります。こういう計算もすべきですね。

⑤反対に『持ち家には金銭ではかれない価値がある』『物を所有することによって生み出される価値がある』父が苦労して手に入れたマイホームには、家族の思い出があり、大人になった子供達にとっても『帰る場所がある』という安心材料になっていることも、否定できません。

⑥さてここからが私の意見ですが、どっちに転んでもお得な様に、そして精神的にも我慢しないで、満足しながら『賃貸』に住んでいただきたいですね。もしこれは買いたくない計算できる物件があれば家を買ってもいいでしょう。しかしあくまで冷静に考えて、それまでは賃貸です。

⑦また新築住宅にこだわる必要はありません。中古には安くいい物件がたくさんあります。

⑧今の賃貸も見直して下さい。いいものがあるばいでも買える準備のためには、頭金を貯めなければなりません。そうすればいつでも買えますね。私の『家賃半値のトラストシステム』はそういう楽しい計画にぴったしのサービスです。家賃の半

分は預金できます。

⑨最後に専門的な計算を覚えて下さい。『利回り』という考え方で、これは欧米では常識、日本では誰もやりません。今の年間家賃その他を6%で割って下さい。8万円×12ヶ月=96万円÷0.06=1,600万円。これが今の賃貸の『利回り』で、『価値』です。もし家を買う場合なら、その総額に6%を掛けて下さい。3,000万円×0.06=180万円÷12ヶ月=15万円の家賃相当ですね。中古で2,000万円なら月10万円相当です。

私が何を言いたいかお分かりでしょうか。『理性』で計算をして損をしないように。そして『感情』で満足するところまで折り合いをつけて下さい。はい、あとは努力・我慢・決断・実行・自己責任ですね。私もその繰り返しですが『60年間の私の人生』だったと、この文章を書いてしみじみと感じている次第です。

アサヒグローバル(株)
ゴールドトラスト(株)
代表取締役 久保川 議道